

【概要・目標】

理論のレベルとその活用方法を理解し、がんの予防方法とその方略について学修する。そして治療から終末期に到るプロセスにおいて、がん患者・家族への支援に関わる基礎的な概念、理論を学修し、看護に関連した現象をより明確かつ具体的に説明するための枠組みを理解する。

1. 理論の抽象度のレベルによる分類(メタ理論: Meta-Theory)、大理論: Grand Theory)、中範囲理論: Middle-Range Theory、実践理論: Practice Theory) とその活用方法を理解できる。
2. がんおよびがんの再発予防について人々がセルフケアできるように知識・指導技術が修得できる。
3. がん看護の領域で主となる看護理論、概念(ストレス・コーピング理論、危機理論、全人的苦痛、セルフケア理論、ロイ適応看護理論)について学び、具体的な事例を理論の概念図を基に展開し、理論の活用について修得できる。

【授業内容・スケジュール】

I. 理論のレベルとその活用方法

- ① 大理論、中範囲理論、実践理論の概要を講義する。特に中範囲理論に関しては、臨床でがん看護の研究として妥当性が立証された文献を事前学習として学生に提示し、学生と共に内容を読み解きながら、既存の看護と看護以外の理論がどのように組み合わせられて活用されているのかを教授する。

II. セルフケア理論

- ② オレムセルフケア理論に関して、開発のプロセス、概念図を用いて基本的な看護システムの解釈についてがん患者の症例を用いて教授する(講義)。
- ③ 学生が文献から看護システムの変数(セルフケア、治療的セルフケア・デマンドとセルフケア・エージェンシー)との間の関係性とセルフケア不足に関して学習し、プレゼンテーションし、ディスカッションを行う(演習)。
- ④ 学生が文献から、意図的行為としてのセルフケアに関して学習し、プレゼンテーションし、ディスカッションを行う(演習)。
- ⑤ 援助システム(全代償的看護システム、一部代償的看護システム、支持・教育的看護システム)について臨床でのがん患者の症例を用いて展開しディスカッションを行う(講義)。
- ⑥ 学生がオレムセルフケア理論について、概念図を中心に、看護システムとして看護介入の展開を、がん患者症例を用いてプレゼンテーションし、がんの治療における様々な症状や再発予防における早期発見に関する患者のセルフケアを促すケアについてディスカッションを行う(演習)。

III. ストレス・コーピング理論および危機理論

- ⑦ セリエからラザルスのストレス・コーピングの変遷と概念図を用いてのがん患者の症例展
-

開を行う(講義)。

⑧危機理論：危機モデルの種類と特徴，看護過程における問題解決モデルへの応用，理論開発における対象者の違いとがん看護への活用，症例を用いた展開を行う(講義)。

⑨学生が臨床でケアへの困難さを感じた症例を用い，危機理論をベースに，症例を展開し，問題解決モデルの思考を養う。学生がプレゼンテーションを行う(演習)。

II. 全人的苦痛(スピリチュアルペイン)

⑩全人的苦痛が身体的・精神的・社会的・スピリチュアルペインから構成されていることへの理解：これまでの研究の動向を踏まえ，身体的・精神的・社会的・スピリチュアルペインの具体的な内容を臨床での患者の症例を交えて展開する(講義)。

⑪学生がスピリチュアルペインについて学習し，プレゼンテーションを行う(演習)。

⑫学生が全人的苦痛(身体的・精神的・社会的・スピリチュアルペイン)のある患者の症例について理論を基に展開，プレゼンテーションし，ディスカッションを行う(演習)。

III. ロイ適応看護理論

⑬先行研究を踏まえ適応に関する研究の動向，ロイの適応看護理論に関して，システムとしての人間の捉え方，環境との相互作用，看護過程の重要概念と看護過程(行動のアセスメント及び判断と根拠，刺激のアセスメント)について教授する(講義)。

⑭ 学生は臨床で関わった経験のある症例を基に，行動のアセスメントとその判断と根拠をまとめプレゼンテーション，ディスカッションを行う(演習)。

⑮学生は引き続き，症例を基に刺激のアセスメントまでまとめ目標を立案し，プレゼンテーション，ディスカッションを行う(演習)。

【評価】

- 1) 授業の中で紹介する文献の読み込みとその理解状況(プレゼンテーションおよび意見交換) 20%
- 2) 出席状況と授業への取り組み 30%
- 3) 授業の中でのプレゼンテーションの1事例についてディスカッションを行った後で学びを深めた内容をまとめる。最終の授業終了から2週間以内に提出 30%
- 4) e-learning 受講状況 20%

【テキスト】

南裕子他訳 「看護理論集」 日本看護協会出版会 2013

小田正枝編集 ロイ適応看護理論の理解と実践 医学書院 2009 (2016 第2版第1刷)

小野寺杜紀訳「オレム看護論」医学書院 1979 (2011 第4版第6刷)

【視聴覚教材】

「第3期がん対策推進基本計画」

がんプロ e-learning (視聴方法は授業の中で紹介する)

【参考文献】

授業の中で紹介する。

【その他】

連絡先：yamada-s@wakayama-med.ac.jp